



開発前の大崎駅周辺
(1980年代)



大崎駅周辺地区／東京都品川区

戦後、工場地帯として発展を遂げたJR「大崎」駅周辺は、昭和57年「東京都長期計画」において副都心の一つに位置付けられ、平成14年には「大崎」駅から「五反田」駅にかけての周辺約60haが、都市再生緊急整備地域に指定されました。

URはまちづくり連絡会の事務局や事業推進の総合コーディネーターとして、まちづくりビジョンやガイドラインなどの策定・運用、民間再開発の事業化支援、品川区からの受託による道路や橋梁などの公共施設整備、UR賃貸住宅の供給などを通じて、この地域の都市再生を総合的にサポートしました。

タイム
トリップ

小関橋架橋



アートヴィレッジ大崎
(再開発事業化支援・UR賃貸住宅)



目黒川緑道（公共施設整備）